



東京エレクトロンデバイスが提供する セキュリティソリューション

東京エレクトロン デバイス株式会社

CN BU CN営業本部
アカウント第一営業部
大澤 祐介

会社名	東京エレクトロン デバイス株式会社
設立年月日	1986年3月3日
代表者	代表取締役社長 徳重 敦之
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード：2760)
資本金	24億9千5百万円（2023年3月31日現在）
売上高	240,350百万円（2023年3月期）
従業員数	連結: 1,318名（2023年3月31日現在）
本社所在地	神奈川県横浜市神奈川区金港町1-4 横浜イーストスクエア



主な事業内容

- 1. 半導体及び電子デバイス（EC）事業**
半導体、ボード、ソフトウェア、電子部品の販売、
設計・開発
- 2. コンピュータシステム関連（CN）事業**
ネットワーク、ストレージ、ソフトウェアの販売、
保守サービス

子会社

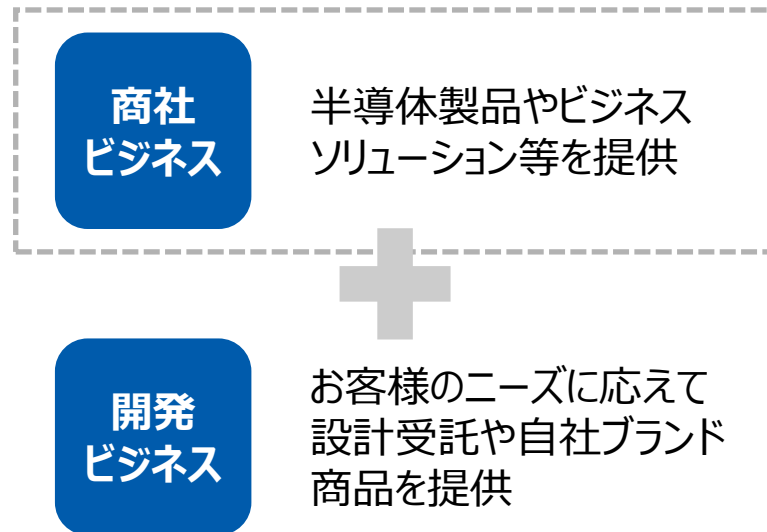
株式会社ファースト
東京エレクトロンデバイス 長崎
東京エレクトロンデバイス APAC
東京エレクトロンデバイス 上海
東京エレクトロンデバイス シンガポール
東京エレクトロンデバイス タイ
東京エレクトロンデバイス アメリカ

関連会社

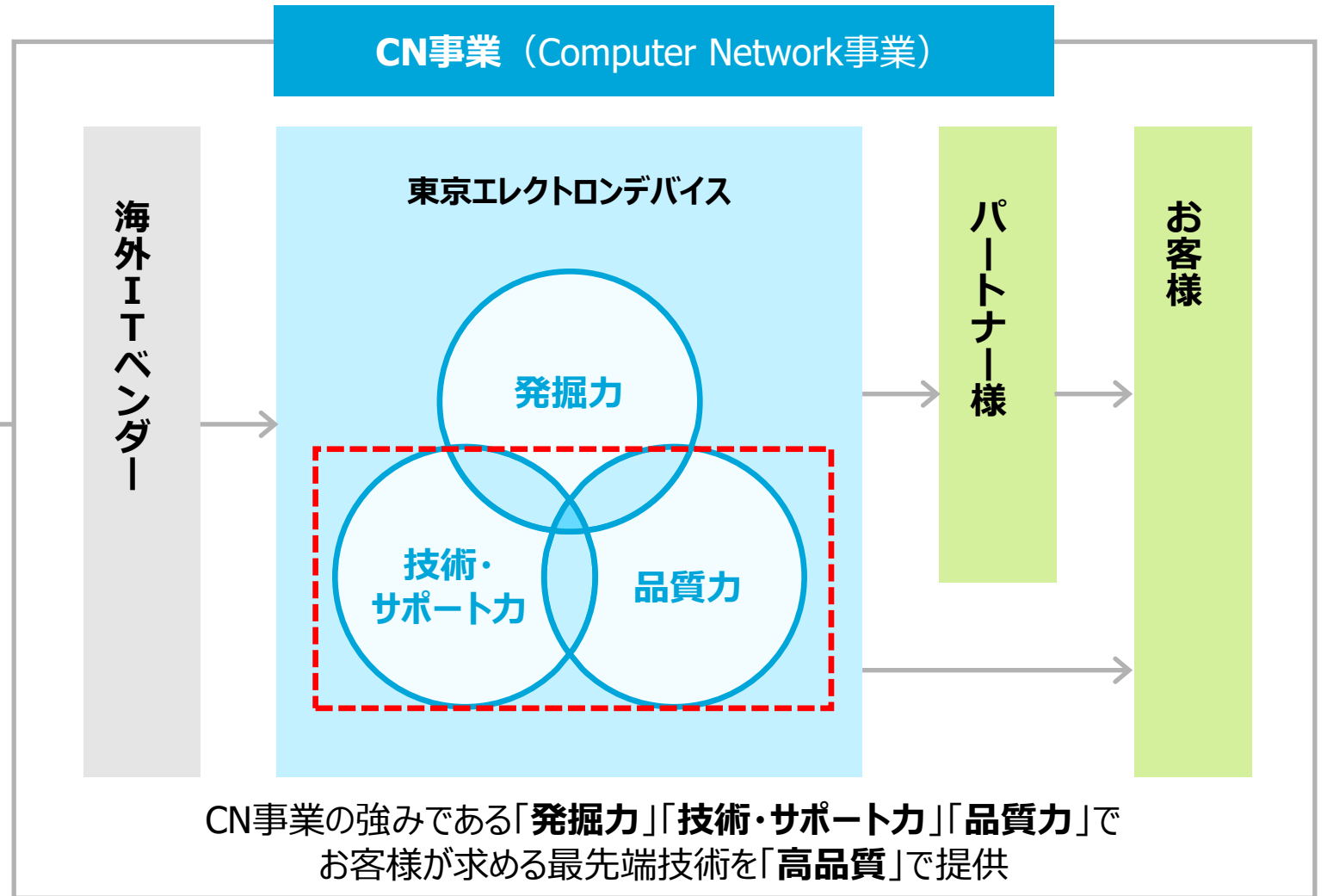
Fidus Systems Inc.



東京エレクトロン デバイス



2つのビジネスを有する技術商社



Rubrik製品における弊社の位置付け

- ・ 国内ディストリビュータです（2016年取り扱い開始）
- ・ 業種、業態問わず、多数のお客様にご導入いただいております

技術支援

- 事前検証 機能検証・検証中のサポート
- ヘルプデスク Q&A対応

導入・導入後支援サービス

- PoC支援サービス 機器のお貸出し・ライセンスご提供
簡易操作トレーニング・平日日中帯ヘルプデスクサポート
- 構築サービス 要件定義、ポリシー作成、設計・構築、簡易操作トレーニング
- 操作トレーニングサービス 管理UIの操作方法やポリシー設定等の基礎的な操作トレーニング

保守サポート

- 専門部隊 バックアップ製品専門の部隊がサポートを担当
- サポート実績 20年以上のバックアップ製品サポート実績
- 迅速な調査 例) ベンダーサポートと協調したリモートでの原因調査の実施
- 正確な通知 製品に関する重要な問題発生時はお客様個別に通知



バックアップ時間の短縮 運用管理業務の平準化

ハイパーコンバージドインフラ型バックアップ「ルーブリック」を採用
シンプルな構成で運用性向上、バックアップ時間を飛躍的に短縮



アズワン株式会社 様

本事例で採用された製品ソリューション

統合型バックアップ
アプライアンス



理化学機器の総合商社大手のアズワン株式会社は、データ量の増大に伴うバックアップ時間の長時間化、運用管理の複雑化などの課題を解決すべく、米国Rubrik(ルーブリック)社の統合型バックアップアプライアンス製品「Rubrik r6000シリーズ(以下、ルーブリック)」を導入しました。永年増分によりバックアップ時間を従来の1台あたり2時間から10分に短縮。また直感的でわかりやすい管理GUIで運用管理業務の平準化を図るとともに、ハイパーコンバージドインフラ型(以下、HCI)の容易な拡張性、クラウドとの連携など、幅広いニーズに柔軟に対応しています。



アズワン株式会社
IT推進部
齋田 真一 氏

導入前の課題

- データ量増大に伴い、バックアップが時間内に終わらない
- バックアップ運用管理の業務の平準化
- シンプルな構成に配慮し、運用や保守を容易に行いたい

ソリューションの利点

- 差分だけをバックアップする永年増分により大幅に処理時間を短縮
- 管理GUIでバックアップの状態をグラフで表示し見える化を実現
- 必要な機能を集約しオールインワンのアプライアンスで提供

導入後の効果

- バックアップ時間が従来の1台あたり2時間から10分に短縮、多重処理も実現
- 直感的で使いやすい管理GUIで新人でもバックアップの状態が把握可能
- 従来1カ月かかった拡張がサーバーを追加するだけで1時間以内に完了見込み

5年間で取扱商品点数が10倍以上に拡大 データ量急増に伴いバックアップが課題に

科学機器、産業機器、病院・介護用品を中心に専門的な分野の商品をカタログとeコマースで販売しているアズワン株式会社。2019年3月期の連結純利益が前年比10%増の50億円強となり、7年連続で過去最高を更新しました。顧客満足度を追求する同社で成長の原動力となる「豊富な品揃え」において、ターニングポイントとなったのがeコマース事業の拡大でした。「現在、10万点の商品を掲載している紙のカタログですが、掲載数はに限りがあります。この5年間で取扱商品点数は10倍を超え、300万点以上となっています。商品点数の急増に伴い、データ量も加速的に増加しITインフラの処理能力が課題でした」(齋田氏)

特に急務だったのが、基幹システムを含むすべての業務システムを対象とするバックアップの改善です。「従来、仮想サーバー200台規模のバックアップは、時間がかりすぎて夜間で終わらなかったり、すべてをとりかえることができないケースがありました。バックアップがとれないことから、システムの障害発生時に復旧の遅れや重要情報の消失を招くリスクと常に隣り合わせの状態でした」(齋田氏)



アズワン株式会社
IT推進部
齋田 真一 氏



所在地: 大阪府大阪市東淀川区西中島2丁目1番27号
設立: 1962年
代表: 代表取締役社長 井内 尚樹
URL: <https://www.as-1.co.jp/>

東京エレクトロン デバイス

運用コストと作業負担の抑制 運用効率化と迅速な普及

万が一の障害発生時にも迅速な復旧を実現する「Rubrik」を導入
仮想化基盤との高い親和性でバックアップ/DRの負荷を大幅に抑制



岡谷鋼機株式会社 様

本事例で採用された製品ソリューション

ハイパーコンバージド
インフラストラクチャー
バックアップ
アプライアンス
高速Ethernet
スイッチシステム



岡谷鋼機株式会社では、バックアップ/DR(Disaster Recovery:災害復旧)システムの運用効率化と障害発生からの迅速な復旧を実現するため、Rubrikの仮想化環境向けバックアップアプライアンス「Rubrik r6404」を導入しました。仮想化基盤の刷新を目的として同時に採用されたNutanixのハイパーコンバージドインフラストラクチャー(以下、HCI)製品「Nutanix Enterprise Cloud Platform NX-8035」と組み合わせることで、仮想化基盤におけるシステム運用とバックアップ/DR業務の効率化を達成。万が一の障害発生にも短時間でシステム復旧を可能とし、ビジネスを停止させない環境を獲得しました。



岡谷鋼機株式会社
総務 本館システム企画部
定員
桑田 健二 氏

導入前の課題

- バックアップ/DRシステムの運用負荷の抑制
- 万が一の障害発生時にも迅速に復旧可能な環境の構築
- バックアップサーバー/バックライアント/ストレージによる複数の障害点の発生

ソリューションの利点

- 仮想化環境向けバックアップアプライアンス「Rubrik」によりバックアップ/DRシステムを強化
- HCI製品「Nutanix」との組み合わせで迅速かつ効率的なバックアップ/DRが可能に

導入後の効果

- 仮想化環境に最適なバックアップ/DR環境により運用の大幅な効率化
- メインサイトに障害が発生した場合でも早期サービス復旧が可能
- オンプレミスや仮想化環境、クラウドを問わないバックアップ/DR環境を実現
- バックアップシステムの集約による障害点の削減

2つの拠点間でバックアップ/DRを実施 運用の効率化と、より迅速な復旧が課題に

ものづくりに貢献する感性豊かな「グローバルに最適調達パートナー」を目指し、鉄鋼、情報、電機、産業資材、生活産業の4つの事業領域を軸として、グローバルにビジネスを展開する岡谷鋼機。同社のビジネスを根拠から支えているのがITインフラであり、その設計、構築、運用を担うグループ会社の岡谷システムサポートのもと、時代の趨勢と技術の進化を見逃さずIT基盤の強化に継続して取り組んできました。「近年ではグローバルに事業を展開する中で、データウェアハウス(DWH)の構築による国内外子会社のデータの連携と一元管理をはじめ、Office 365の導入



所在地: 愛知県豊田市中区中二丁目4番11号
設立: 1957年
代表: 取締役社長 岡谷 第一
URL: <https://www.mitsuboshi.co.jp/>

東京エレクトロン デバイス

バックアップ時間の短縮 リストアに要する作業負担・ 時間の削減

自治体の内部情報系業務
バックアップ基盤の信頼性・処理性能向上を「Rubrik」で実現



株式会社 松阪電子計算センター 様

本事例で採用された製品ソリューション



三重県松阪市に本社を構える株式会社松阪電子計算センターは、1967年の創業以来、官公庁向け各種行政情報システムの提供を主軸としたビジネスを展開。現在では東海・関西エリアを中心に60を超える自治体、および民間企業に多彩なITソリューションやサービスを提供しています。同社ではバックアップ基盤のパフォーマンスと信頼性向上、運用の効率化を目的に、Rubrikの仮想化環境向けバックアップアプライアンス「Rubrik r6404」を導入。バックアップ時間の大幅な短縮やトラブルのない安定した基盤の実現等、多くのメリットを得ることができました。



株式会社松阪電子計算センター
営業本部 営業企画部
部長代理
河田 利明 氏

導入前の課題

- データ量の増加に伴うバックアップの長時間化
- バックアップエラーが発生した際のリカバリ作業負担の上昇
- リストア作業の煩雑さを解消し万が一の障害発生時の迅速な復旧の実現

ソリューションの利点

- 仮想化環境向けバックアップアプライアンス「Rubrik」によりバックアップ基盤を強化
- 東京エレクトロンデバイスによる設計・構築サポートによりスムーズな導入を実現

導入後の効果

- 規定時間に終わらなかったバックアップが1時間程度で完了し業務への影響を解消
- バックアップエラーがなくなりリカバリ作業から解放されコア業務に専念可能に
- インスタントリカバリ機能によりリストアに要する作業負担や時間を大幅に削減

自治体向け業務システムの利用増に伴い バックアップに関して様々な課題が浮上

自治体移業務の効率化と住民サービスの向上に貢献するシステムインテグレーションをはじめ、ふるさと納税業務委託、データセンターやアウトソーシングサービスの提供により、地域社会の情報化推進を支援してきた松阪電子計算センター。近年では、AIやIoTといった最先端技術を取り入れたシステム開発/サービス提供にも積極的に取り組んでいます。営業本部 営業企画部 部長代理の河田利明氏は次のように述べています。「昨今のデジタル化の潮流を捉え、当社のビジネス



株式会社松阪電子計算センター
公共システム本部 ITインフラ部
エンジニアリンググループ
補助
佐藤 昌幸 氏



株式会社松阪電子計算センター
公共システム本部 ITインフラ部
エンジニアリンググループ
主任
永崎 晃也 氏



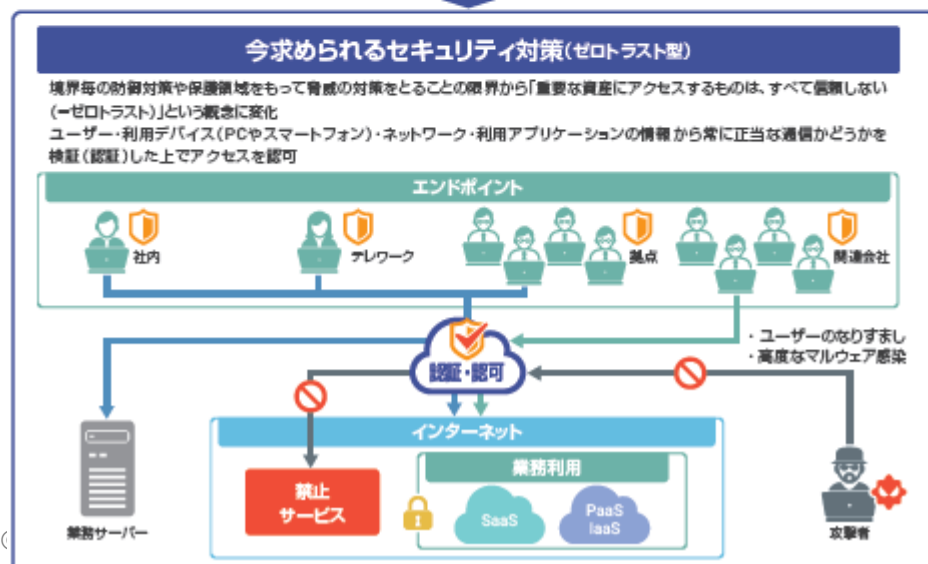
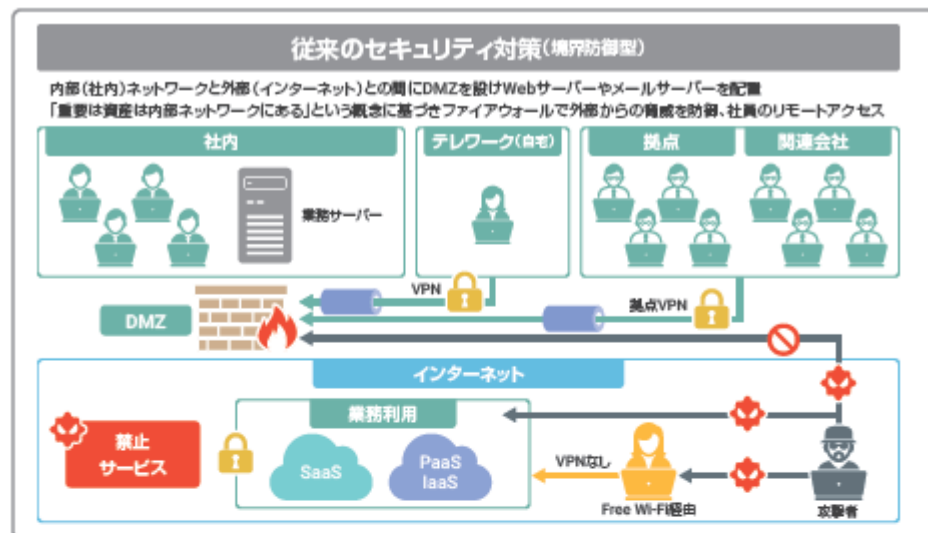
その他、多数のお客様にご導入いただいております。
事例の詳細は→<https://cn.teldevice.co.jp/case/>

ゼロトラスト セキュリティ ～「快適なネットワーク」と「安全な運用」の両立を目指して～

業務システムのクラウド化やテレワークの普及が急速に進展し利用者の利便性は向上したものの環境の多様化に応じて情報資産の完全な保護を実現するには従来セキュリティモデルでは限界がありセキュリティの管理者は従来とは違った観点での対策が必要となっています。

【従来の「境界防御モデル」では万全なセキュリティ維持が困難に】

- * 社外からのアクセス増加：在宅勤務・Wi-Fiスポットを利用したリモートワーク
- * 利用端末の多様化：配布PCのみならずモバイルデバイスを含むBYOD
- * 情報共有範囲の拡大：企業の買収・統合や協力会社との連携



ゼロトラストセキュリティの実現に向けて必要な対策例

エンドポイント

エンドポイントセキュリティ(EDR/EPP)

- デバイスの保護・インシデント検知・対処
- ログの統合管理と分析



ネットワーク

ネットワークの可視化 検知・対処

- AI-Driven型の新しいNDRモデル
- 自立型AIでネットワークトラフィックの状況認識・脅威検出



クラウド

クラウドサービス利用制御 (IAP/CASB/DLP)

- クラウドサービス利用の動的制御
- セキュリティポリシーの統制



セキュリティ運用

セキュリティ検証 (Automated Security Validation)

- ネットワーク内部のリアルな脅威対応状況を可視化

運用管理・監視 (SOC)

- セキュリティ運用管理・監視・分析レポート
- 24時間365日の監視サービス



データ保護

サイバーレジリエンスにつながるデータ保護

- バックアップデータ/システムを外部から保護
- ランサムウェアの検出による、安全なデータからの復旧



取扱い製品ポートフォリオ

Security

テレワーク/クラウドアクセス関連ソリューション

SDP

SWG

CASB

SSE/SASE



エンドポイント

Active EDR



シークレット管理

HSM



社内/トラストネットワーク関連ソリューション

Wi-Fi



VPN



Firewall



WAF



DNS/DHCP



Cloud Network Platform

CDN, IDS, FW, WAF, SandBox, Proxy, VPN



脆弱性対策

セキュリティ検証



脆弱性管理



セキュリティ運用

SIEM



SOAR



Infrastructure

クラウド管理/実行

CSPM



IaC



ネットワークソリューション

IP Clos



L2/L3スイッチ



キャンパス



ADC



AI/DLソリューション

GPU



GPU System



Accelerator



仮想マシンインフラ

HCI



3Tier



ファイルストレージソリューション

Scale Out

Power Scale



Scale Up

Unity XT



バックアップソリューション

Cloud Backup



その他





共に創る 新たな価値を

「Connect Beyond」は、ステークホルダーの皆さまの期待と信頼に応えるため、あらゆる既成概念を超えて、皆さまと共に新たな価値の創造に挑戦するという私たちの姿勢を表しています。